
正体(仮)

ろくでない人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

正体（仮）

【Nコード】

N2183S

【作者名】

ろくでない人

【あらすじ】

東歴2209年

仮想空間で行われるようになった戦争
世界はどうなっていくのか？

小説の概要

時は東歴2209年

人類はいまだ一つになれず、戦いを繰り返していた：

しかし、21世紀の時と比べひとつだけ大きな違いがあつた

最初はゲームの臨場感を増すだけに考え出された技術：バーチャルリアリティ

この技術を応用し、仮想空間での戦争を実現にしたのだ

仮想であるがために誰も死なない、誰も傷つけない、何も失わないさらに”戦争”という直接的な力量差で優劣をつけることができる

かつて冷戦と呼ばれていたものなど誰も知るよしもなかった

なぜなら、核兵器の量、新しい兵器で牽制する必要がない

すべて仮想空間で蹴りをつければいいだけの話

はたして仮想空間という存在が何をもたらすのか？

訓練（前）

硝煙の匂い、手に持っている小銃の重量感、爆撃の轟音、すべては現実の世界と同じだ

すでにこの世界にいる人間にはこの世界が仮想だとは思わない

ここで認識している事実…それは現実でしかない…だが世界は現実ではない…

変な気分だ、そうだ、こんなのは正常ではない…

そんなことを手に小銃を持ち弾丸が飛び交う市街地を駆け抜ける男は思った

その男の名は朝霧龍二、19歳

階級は一等兵であり、仮想世界での訓練は今までで2回しか経験したことのない新兵である

現在は3回目の仮想世界での訓練の真最中である

「朝霧こつちだっ！」

いかにも軍人という見た目の渋い声をした男が建物の裏から朝霧に呼びかける

この男の名は佐久間鉄平、39歳

階級は中尉、何度も仮想世界での実戦に投入されている熟練兵である前は機動兵器隊という人型ロボを使う部隊に所属していたが本人の要望により歩兵隊に入る

朝霧の教官という立場でありながらも朝霧からはおっさんと呼ばれているが本人は気にしていない

朝霧は佐久間がいる建物の裏で佐久間と合流した

「毎回毎回、すまねえな、おっさん」

朝霧はそう言いつつ、小銃をリロードする

「朝霧、今回の訓練内容は覚えているな」

「確か対機動兵器についての訓練だったな」

「その通りだ、そもそも機動兵器とは何だったか覚えているか？」

佐久間は覚えていないだろうと言いたそうな顔で朝霧に問いかける

「人型ってことだけしか覚えてないな、それ以外は退屈で聞く耳すら持たなかったな」

佐久間はやつぱりそうかというような顔をしながらも口を開く

「ならばいい、もうそろそろ機動兵器が1機だけ投入される頃だ、これを撃墜することができれば訓練終了だ、いいな？」

「りょーかい」

朝霧は不真面目に返答する

訓練の参加人数は自軍として100名、敵軍として100名

自軍が相手の占拠地点を制圧する途中で相手に援軍として機動兵器が来るというシチュエーションだ

え？占拠地点とは何かって？

仮想世界に用意されてる重要地点ってやつだ

さらに敵国との仮想世界での戦争が勃発した時には条約にそって戦争をしなければいけない

第1条 第3国は介入してはならない

第2条 兵士はお互い1000人を上限とする

第3条 機動兵器の投入は10機を上限とし、核兵器は使ってはならない

第4条 期間は仮想世界での1年即ち現実世界での1か月とする

第5条 勝敗はどちらかが降服するか、戦争終了時に占拠地点を多く制圧してる方が勝ちとなる

とまあ、こんな感じだ

戦争ってよりもはや仮想世界で体感する戦争のゲームみたいな物だ
兵士に上限が決められてるのは何故かはわからない
まあお偉いさんの事情って奴だ、気にしないでくれ

ついでに言っておくとこの1000人っていうのは戦闘兵を含まな
い衛生兵、工作兵、整備兵も含めてらしい

まあ、細かいことは覚えてないんだけどね
ところで俺は何でこんな事を考えてるんだ？

朝霧は思った

そんな時だった今までとは違う重量感のある音が近くに近付いてい
ることに気がついたのは…

訓練（前）（後書き）

本格的に始まる対機動兵器訓練、朝霧は機動兵器の圧倒的な力を見せつけられることになる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2183s/>

正体(仮)

2011年10月5日19時56分発行